



PTA

かながわ



発行者 神奈川県PTA協議会 事務局 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9 横浜ビル302B号室 電話 045(228)7520 FAX 045(228)7541

笑顔輝く子どもたちのために



今「課題」を捉え直す

神奈川県PTA協議会 会長 笹原 和 織

各小中学校のPTAの保護者と教職員の皆さまは、日頃の子どもの環境の保護とその改善に日々尽力なさっていると思います。そのご努力に感謝するとともに、私も保護者の一人として、今後とも頑張り参りましょう！とエールをまっしお送り致します。

私も県会長職を勤め三年になり、ようやく県全体を視野に入れることができ、日本PTAを中心とする全国的な動きも理解できるようになりました。それに伴って、全国的な様々な動きや県内のPTAとして目指して行くべきことや整備すべきものの、より理想的な姿も見えてきたように思います。その一端は昨年の県PTA新聞の記事でもありますが、PTA批判に対する反論の一つとして

にも利用して頂きたいと思ひます。以下この号では、今年度の県協議会として取り組むべき課題を説明し、皆さまのご理解を得て、完遂するためのご支援をお願いしたいと思います。

一つ目は、互助会の法人化と保険事業の明確化が挙げられます。この課題は既に足かけ五年の歳月を要しており、県PTA協議会本体と互助会との健全な関係性の維持と持続的な両組織の維持、そして明朗な会計責任の観点から、今年度中には方向性を決めたいと考えています。全国的な状況では、役員OB/OGとの関係から新たな互助会の設立を見るなど、それぞれに課題を抱えており、私達にはそれらの経験を踏まえた新しい組織のあり方が必要だと考えます。何よりも一般の会員の皆さんから見て、継続性や保つていくべき組織性がない。それは私達のためには再考も必要でしょう。二つ目は「個人情報保護法の改正」への対応です。改正によって保持する個人情報「適切な収集と管理」が義務づけられることになり、皆さんそれぞれがPTAも例外ではなくなっています。そしてこの課題は、加入の任意性の問題が改めて問われるものであることも指摘しておきます。具体的対応は、各地の状況に合わせ、皆さんに主体的に取り組んでいただく必要があります。私達も一つのひな形は示したいと考えています。それぞれのPTAの活動に関しては、少し注意深く考えて頂ければ、その必要性や意義は割と理解しやすいように思えます。が、各市町村郡や県そして全国組織となると、その必要性は希薄なものに映るのではないかと思います。私達としては、この広域連携の必要性やあり方などにも、再考を加え続けるつもりです。



神奈川県PTA協議会 安全互助会のご案内

神奈川県PTA協議会に所属する小・中学校PTAが団体として加入する保険です。

年会費＝1世帯100円

PTA活動中に生じた傷害・事故に保険金・お見舞金を給付いたします

■ 傷害保険

- 保険金（保険会社より）…入院日額 3,060円
通院日額 1,140円
- お見舞金（安全互助会より）…入院 10,000円
通院 5,000円
※一事故につき

■ 賠償保険 過去のお支払い事故例

- ・ PTA主催のソフトボール練習中、打ったボールが学校の窓ガラスを割ってしまった。
- ・ PTA主催のお祭りで荷物を運ぶ際、止まっていた車に傷をつけてしまった。
- ・ PTA行事のため、学校から借りていたテントが風で飛ばされて壊れてしまった。

◆ 問い合わせ先
安全互助会 事務局 TEL. 045-228-7521
FAX. 045-228-7541

継続的なものでなければなりません。理想的なPTAのあり方や活動の活性化に向けた刺激を得られる場、そしてその理想を現実のものにしていくエネルギーや人脈の得られる場、参加する人々が成長する場を提供できるように環境作りを心がけて、維持し、県協議会として次世代に伝えていかねばならないと考えています。

PTCAと言う言葉をご存じでしょうか。Parents（保護者）とTeacher（教員）とCommunity（地域共同体）が協働する団体（Association）であるという意味を込めた言い方です。文部科学省の今後の教育方針でも地域社会との連携の必要性が強調され始めており、学校と地域が連携を深めていく中で、私達現役保護者の団体は、地域の結びつきを深める役目であるとともに、卒業後もOB/OGとして地域社会の中で一定の役割を果たすことを期待されて行くのを期すでしょう。子ども達の環境を保全し改良していくだけでなく、保護者と教職員が、そして私達同士もがそれぞれの経験や知識をPTA活動の中で高め共有し、地域社会に貢献していく。そのようなPTAの理念や理想も確認して頂けたらと思います。

「きれいな事を言うな」とのお叱りを受けることもあります。しかし理念や理想無き社会は闇であり、教育は世渡りの道具に成り果ててしまう。柱や梁の脆弱な建物に崩壊しやすいように、建て前無き組織は崩れ落ちやすいもの、単なるお友達交遊会に墮してしまいかも知れません。

「変える」ということと「変わる」ということ、持続的な組織のために、今年度の県PTA協議会のスローガンです。理解し合える大人数が、互いの一致点を見いだしながら手をつなぎ、できることを気持ちよく活動していく。そんな活動を、今年度も皆さんとともに参りましょう！



平成28年度広報紙コンクールを行いました

平成28年度神奈川県PTA協議会広報紙コンクールにご応募いただき、誠にありがとうございました。子どもの成長と安心・安全を伝えるもの、地域のつながりを感じさせるものなど、どれも保護者の子どもへの思いが詰まった素晴らしいものばかりでした。

最優秀賞に輝いた、厚木市立愛甲小学校PTAの「あいこう」では毎号特集記事を掲載したり、アンケート調査を通じて会員の疑問に答えたりしている点が評価されました。また、PTA役員が活動の工夫した点や感想で、「楽しかった。」「つながりができた。」などのコメントを載せることで、次の活動につながる紙面作りも評価のポイントとなりました。

ここ最近、レイアウトや構成なども工夫を凝らしたのも多く、学校などの活動を工夫して読んでもらおうとする気持ちの伝わる記事が多かったのも印象的でした。

広報委員は、各委員会の中でも大変な印象をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、こうして形になって出来上がって、みんなが読んでいる姿を想像すると、わくわくしますよね。皆さん、お疲れさまでした！

最優秀賞、おめでとうございます！ 厚木市立愛甲小学校PTA「あいこう」

毎号の特集記事 アンケート調査により保護者の疑問点を解消
グラフを使い分かり易くポイントが見やすいレイアウトに地域のつながりを伝える記事



その他受賞された皆さま、受賞おめでとうございます！

- 優秀賞 (県教育長賞) 横須賀市立長井小学校PTA「あらさき」
- 優秀賞 (神奈川新聞社賞) 足柄上郡大井町立大井小学校父母と先生の会「おおい」
- 優良賞 横須賀市立鴨居小学校PTA「山びこ」
- 横須賀市立鷹取中学校PTA「たかとり」
- 厚木市立玉川中学校PTA「まがたま」

PTAと地域のつながり、 応援します！

神奈川県PTA協議会では、各PTAの交流や地域を巻き込んだイベントなどを対象に、事業費の助成を行っています。皆さんもこの事業を活用して、地域のつながりを笑顔の輪で広げませんか？

既に様々なつながりが広がっています。今回は、その中から2つを紹介します。今後の事業の参考にしてみて下さい。

平成28年10月9日(日) 小田原市立早川小学校PTA 「早川の火語り」

PTA研修に参加した際、

講師の方の言葉で「PTA役員は1回きりのチャンス」と言うフレーズが頭に残り、当日いただいたパンフレットの中にPTA助成金なる案内を見つけました。ピンときたのが子どもたちと焚き火をしたいということでした。私自身、キャンプや自然のフィールドの中で過ごすことが好きだということもあったのですが、学校の児童、地域の大人を巻き込み火を見つめながら個々の物語を伝えていくことができないだろうか。人それぞれに選択し、実行していきながら生きていくうえで、どれだけでも自分の物語を耳に、胸に残すか？子ども

たちの選択肢は増えていくのではないだろうか。

となると力を借りるのは誰でもいいんだ、お爺ちゃんお婆ちゃん、地域に住む誰もが物語を生きているんだ、火を見つめながら語ってもらいたいという構想が頭に浮かび、駆け巡り、僕自身がやれるぞと心の中で誰よりも早く微笑みはじめた瞬間でした。「火語り」が誕生したのです。そこからは本部役員や校長先生も快諾してくださりチラシの作成など積極的に関わってくださり地域全体が何をやるんだ？とワクワクしていきのが肌にも伝わって



タートから子どもたちの歓声があがりました。子どもたちは二つの火を囲み直接顔をみて話さなくても、ぼんやり耳に入ってくる言葉を聞きながら4人の語り部の声を静かに聞き入っていました。聞く子どもたちそれぞれに受け止めながら誰かの



きました。

地区育成会、子ども会、おやじの会、消防団の方々と協力要請の際にも「おもしろそうじゃん」と大人から自然と手を差し伸べて頂ける状況にもなりました。僕が先頭に立つのではなく地域が同じ目標に向かっていくことで派生する一体感を強く感じました。

当日、火の扱いについては子どもたちに考えてもらいました。火は熱い、煙が目に入る、風が吹くとどうなるか、つて単純なようで初体験のス

物語を自分の物語に置き換えていく。命のバトンが引き継がれていくようにも見えました。強弱に揺れながら柔らかな火に照らされた子どもたち

ちの表情に心の笑顔が浮かんでくるのがたまらなく愛おしい時間になりました。

PTA助成金の活用により、丸太ストープ、大ブルーシート、夜間の認識用アレスレット等の購入ができ、地域交流の1ページを刻みましたこと心より感謝致します。

平成28年12月3日(土) 葉山町PTA連絡協議会 葉山町PTAスポーツ大会 「ドッジボール大会」



たことのあるドッジボールに決め大人が本気で楽しめるようにルールやボールにも配慮しました。その結果、多数の父親をはじめ、教員、事務員、給食調理員など、学校に関わる様々な方が参加を得ることができました。町内関係団体にも多数の参加をいただき、県PTAとの連携、助成事業として開催した点もアピールできました。当日は、J・COMの取材を受け、横須賀三浦地域の方にも広く本事業を紹介することができたと

葉山町PTA連絡協議会が開催する事業は、平日午前中の講演会が年2回あります。時間帯も父親の参加は難しく、母親向けの講演内容が多くなっています。そんな理由から、この数年当会の中でも父親が参加できる事業を検討しておりました。神奈川県PTA協議会の事業助成活動が始まったこともあり、実現に向けて動き始めることができました。

目的は、葉山町内全ての学校の保護者、教職員が笑顔で交流をすること、PTAへの理解を深め、県PTAとの連携をアピールすることです。普段はPTA活動に関わることのない父親が多く参加できるように、土曜日に開催するスポーツ大会に決定しました。競技は、誰もがや



考えております。参加人数は予定通り400名強となりました。

朝からたくさんの参加者が集まり、競技も白熱したものとなりました。保護者と先生、事務員や給食調理員が同じチームで戦う姿をみて、子ども達もたくさん笑顔で応援をしました。当会としては初の試みでしたが、参加者から高い評価をいただき、来年以降も実施することに決まっています。

《事業の紹介》 ■事業名

「つながる大人の向上心」学びあい、教え合う大人の背中へ」
(神奈川県PTA協議会PTA事業に対する助成活動)

■事業目的

1. すてきな大人の背中を押すこと
2. 視野を広く持つ活動することの確認
3. PTAが連携することの必要性

■事業概要

- ◆事業内容…県PTA予算から活動助成金を直接助成する。
- ◆事業主体…神奈川県PTA協議会
- ◆申請限度額…事業あたり80,000円を限度額とする。
- ◆活動単位…単位PTA・市町村PTA・ブロックPTA
- ◆申請条件…開催事業を県PTA会員に開き、周知活動を行うこと。
- ◆開催事業報告を兼ね、主催団体が発行する広報紙への掲載(県PTA事業助成金を活用した事業であることがわかる内容)、また県PTAの広報見える化委員会の取材により県PTA広報紙へ掲載すること。
- ◆補助対象…PTA事業費(原則として会場費講師料)

※申請方法など、ご不明な点などにつきましては、神奈川県PTA協議会事務局までお問い合わせください。

TEL045(228)7520

「モンの部屋」



「俺は笑って生きてっとう！」

県P顧問 玉野真永氏

朝ドラひよっこが終わってしまい、ここ数日ひよっロスの日々を過ごしています。

不肖わたくし、本年7月、有村架純ちゃん主演の国民的ドラマ、NHK連続テレビ小説「ひよっこ」に出演いたしました(パチパチパチ)、あの朝ドラです。出演といってもエキストラです。画面に映ったのは0.3秒くらいですが……私の役は、ビートルズの来日公演当日、武道館(ロケは小田原城)に入れないファンの人でした。

後になって分かったのですが、この週の「ひよっこ」俺は笑って生きてっとう！は、笑顔の素晴らしさ・大切さをテーマとした週だったのです。ロケ当日はその場面しか知らない

ので、何で宗男(峯田和伸)は「俺は笑って生きてっとう」と叫んでいるんだろう? と思っていました。が、物語が進むにつれて作者(岡田恵和)の意図がビンビンと伝わってきました。

1966年6月26日

ビートルズが来日しました。どうしてもビートルズに会いたい宗男が奥茨城から上京し、チケットはなくてもビートルズが滞在する東京に自分もいたいという思いだったのでしょう。みね子(有村架純)のアパートに転がり込んで、みね子の働く「すすり亭」やアパート「あかね荘」の面々との楽しいエピソードをつくりつつ、ここで初めて宗男の戦争体験が語られました。

凄惨な戦いとなったインパール作戦。戦の基本である兵站を全く無視した史上最悪の作戦で、日本軍の戦死者は2万人、ジャングル内での病死者、餓死者が4万人と言われています。死ぬ覚悟をしていた宗男はある夜、敵地の偵察を命ぜられ、一人の若い英国兵と鉢合わせしてしまいました。ところがその英国兵は宗男に「笑顔」を見せ、その場から立ち去って行ったそうです。絶体絶命からの命拾いでした。

宗男は、戦争に行く前、いつもお兄さんの陰に隠れている引込み思案の内気な少年だったのですが、敗戦で日本に帰った来てからは、若い英国兵から感じた他人を勇気づける「笑顔」の力を信じ、命を大切に、笑いながら生きて行こうと決意。いつも笑顔で周りを和ませている彼の生き方はそこから変わったんですね。

仏教では、人の実践すべき行いとして「和顔愛語(わげんあいご)」といった言葉があります。和やかな顔つきと、優しい言葉です。これは他人に対する施し(＝布施の原点だ)と思います。私たちは布施と言うと、一般的には何かお金や食べ物、財物を他人(お坊さん?)に上げることだと思いがちです。たしかにそれらも布施ですが、それより笑顔とやさしい言葉の布施もあることを忘れてはいけません。人の笑顔を見ると心が和みますよね。お金がなくても、赤ちゃんだってできるんですよ。

そして、優しい言葉も大事です。優しい言葉とは、相手を傷つけない言葉です。私たちには常に正しいことを言わねばならぬと思っ

「ウェブベルマーク」

～新しいベルマークのかたち～

ベルマークって、学校や幼稚園などのPTAと、大学や公民館等に限られているってご存知でしたか? 皆さまの貴重な活動は、子どもたちの豊かな教育環境を支えています。ちょっと集めるのは大変ですが、インターネットで買い物をするだけで、ベルマークが集まる、そんな取り組みをご紹介します。

取り組みをはじめた神奈川県PTAに、笑顔がどんどん広がっています!

ウェブベルマーク

サイト経由のお買い物で支援金生まれ、ベルマーク預金に自動加算できます。

- ▶ 個人参加で集めた支援金の半分は従来のベルマークに合算。学校行事に必要な備品等に充てることができます。
- ▶ ショッピングポイントにプラスして支援金も生まれます。
- ▶ 楽天、ヤフオク、じゃらん、ベルメゾン、ロハコなど協賛ショップの商品・サービスはすべて支援金の対象!
- ▶ わが子の学校と同時に、東北被災校を支援できます!



学校単位ではなくPTA個人参加の取り組みで、お買い物時に支援金が発生します。同時に、わが子の学校(従来のベルマーク参加校)を募集・宣伝してください。



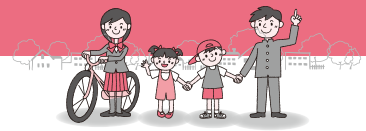
主催・運営：一般社団法人ウェブベルマーク協会
この運動は、東日本大震災の被災校支援をきっかけに始まりました。
問合せ先：03-6441-6262・information@webbellmark.jp

「ウェブベルマーク」で検索
<https://www.webbellmark.jp/>

かながわ子どもセーフティプラン24

【こども総合保険+自転車総合保険】

当制度は、児童・生徒のケガや賠償事故等、日常生活中に想定される様々なリスクに対応した総合保障制度です。



- 特長その1 適用される割引率：約**48%** 割引
- 特長その2 自転車事故を含めた、**個人賠償責任**を補償 (示談交渉サービス付き)
お子さまが**ケガ**をした場合の**治療費用**を補償
(健康保険の3割自己負担、差額ベッド代、入退院時の交通費など)
- 特長その3
- 特長その4 補償期間中、**1日24時間** (学校の休みの日も) 補償
- 特長その5 お子さまが日射・熱射によって**熱中症を発病した場合**に補償
- 特長その6 **地震・噴火・津波によるケガ**も補償
- 特長その7 ケガによる入院・通院で5万円以下のご請求は**電話のみで簡単請求**
※ご利用にあたって諸条件があります。

制度に関するお問合せ先 株式会社 ジーアンドケイ・アソシエイツ「かながわ子どもセーフティプラン24」係まで
TEL: **0120-115-852** (通話料無料) 受付時間: 9:00~17:00 (土、日、祝日、年末年始を除く)
引受保険会社: **AIU損害保険株式会社**

2017年10月現在の内容です。

A-000780 (2018/08)